

2019. JUNE

広報 JAだてし

第71回通常総代会のようす



NO.619

発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 Tel0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>



Japan Agricultural cooperatives

主な内容

第71回通常総代会開催
東関内公共牧場入牧始まる
年金友の会 パークゴルフ・ゲートボール開幕戦
女性部 花壇整備ボランティア その他

6月号

今月号のトピックス



第71回通常総代会開催

計125名(出席率90.5%)により総代会の成立を宣言しました。

議事に先立ちJA綱領朗唱並びに永年勤続職員表彰が行われた後、佐藤組合長より「昨年は春先からの天候不順、低温長雨、胆振東部地震全道ブラックアウト台風と自然災害が多発し、組合員の皆さんも苦労された1年ではなかったかと思えます。

5月21日(火)、本所2階にて第71回通常総代会が開催されました。

菊谷伊達市長をはじめ、多くの来賓が列席される中、総



代138名中本人出席40名、委任状8名、議決権行使書77名、合

また、当JAにおける組合員の利便性を重視すると共に信用事業の在り方を検討し継続に向けて計画を実行していく。購買事業では10月の増税やそれに伴うキャッシュレス化に対応していきたい。IC-Tやローンの実用化に向けた取り組みも実施していく。社会的変化にいち早く対応しJAの事業継続、近未来型JAを目指していきたい。」

旨の挨拶がありました。

続いて来賓を代表して菊谷伊達市長、竹村秀和JA北海道中央会札幌支所長の挨拶の後、議長に長和地区の鈴木亨さん、関内地区の堀籠賢一さんが選出され議事に移りました。5件の議案、2件の報告事項、1件の決議事項が上程され、議案については全て原案通り可決されました。

今年度の事業方針については、総合農協として信用事業を継続していき、事業運営体制の整備やJAバンクールの順守と自己資本、事業利益の確保、コンプライアンス強化に取り組むこととしています。また、農業振興については組合員の高齢化に伴う担い手不足や労働力不足、新規就農者や後継者の課題を整理し販売事業対策やJA組織の改革として部課の統廃合や働き方改革への対応として業務効率化や、各関係機関とより一層綿密な連携を図り、役職員一丸となって事業遂行にあたると思っています。

【第71回通常総代会議案】

●議案第1号

平成30年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について

●議案第2号

賦課金の賦課及び徴収方法について

●議案第3号

平成31年度(令和元年度)事業計画の設定について

●議案第4号

役員報酬の支給について

●議案第5号

〔規約附属書〕監事監査規程の一部変更について

◎報告事項1

「JAバンク基本方針」の変更について

◎報告事項2

労働保険事務組合

の平成30年度徴収・納付状況の報告について

【決議事項】

JA北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議(案)



田植え最盛期

5月上旬～6月上旬にかけて、伊達市内の水田の田植えが最盛期を迎えました。

例年よりも降水量が少なく好天に恵まれたことから田植えも順調に行われました。市内の学校給食や独自ブランドの「伊達武者ななつぼし」としてマーケットで販売される他、道内各地へ出荷、販売されま

す。伊達市内の水田作付面積は約215haで、「ななつぼし」や「ゆめぴりか」が主力となっています。

日本国内の米の需要は減少していますが、価格の安定のために品質向上や安全・安心な米の生産が必須条件となっています。北海道全体で米を守り、北海道ブランドの維持発展へ取り組んでまいりましょう。



年金友の会パークゴルフ・ゲートボール開幕戦



5月18日(土)に伊達歴史の杜ゲートボール場にて令和元年度年金友の会ゲートボール開幕戦が開催されました。

歴史の杜ゲートボール場にて令和元年度年金友の会ゲートボール開幕戦が開催されました。

平泉 国子、大友 末子
堀 智博、篠原 裕治

3位 イチチーム

太田 智、細川八重子
伊藤 喜枝、東海林綾子

○パークゴルフ開幕戦
男性の部

1位 佐藤 繁

2位 伊藤 文夫

3位 北藤 孝通

4位 紺野 幸男

5位 丹野 征之

女性の部

1位 篠原ミヤコ

2位 伊藤 喜枝

3位 北藤 洋子

4位 長谷川貞子

5位 佐藤ハルミ

ブービー賞

小泉 勇一、荒 厚子



公共牧場入牧始まる

5月15日(水)から5月16日(木)にかけて、伊達市東関内公共牧場で育成牛の入牧が行われました。

市内生産者が飼育している育成牛をトラックで公共牧場へ搬入し、畜産課の担当職員によつて1頭ずつゲートを通し、個体番号確認、体重計測、駆虫剤塗布の作業が手際よく行われ



次々と放牧されていききました。

今年は市内12戸の生産者から181頭の牛が入牧

約70haの放牧地で育成し100kg程度体重を増やし、10月下旬に各生産者の所へ戻ります。

また、登別公共牧場でも6月3日(月)から6日(木)にかけて入牧が行われ、登別市内4戸の生産者から35頭の牛が入牧されました。



女性部花壇整備ボランティア



5月24日(金)にくみあいマーケット駐車

場前にてJA伊達市女性部(大戸恵美子部長)の花壇整備ボランティアが行われました。

参加した女性部員9名は歩道に面した花壇に女性部員の皆さんが育てたマリーゴールドやピオラ、サルビアを約130本植えました。

マーケット、本事務所を利用

される方々に気持ちよく利用していただけるようにと、女性部員の方々が率先し、景観美化として花壇の整備を行いました。



平成31年度（令和元年）営農計画書における農協に対する意見等の報告

本年度の営農計画書に、多くの組合員の方々からの貴重なご意見を頂き誠にありがとうございました。

皆さま方のご意見等に対する回答を、地区別懇談会に出された意見と重複しないよう数多く寄せられた意見をピックアップ・要約して報告させていただきます。

▽販売事業関係

◆意見①

「食の安全、安心への取組」

◆回答①

生産履歴記帳により品目ごとにチェック管理を行っております。

また、内部で各品目別に農産物残留検査を抽出にて、毎年検査を実施しております。

◆意見②

「鹿対策を考えてほしい」

◆回答②

各関係機関と協力しながら、わな資格所持者の稼働率

アップのため推進を実施し、わなの助成・有害鳥獣捕獲止め差し弾費の助成・銃火器（免許取得含む）の助成を実施していきます。

◆意見③

「施設等の利用状況を含め組合員の理解と強い基盤作りが必要と思います。」

◆回答③

青果課での各加工施設については、各部会と協議の上で今後の利用状況等を検討して参ります。

また、麦乾施設については老朽化により修繕費が高んでいますので、利用状況等にに応じた体制を協議してまいります。

◆意見④

「畑作野菜担当の技術者を置くべし」

◆回答④

販売事業の体制には必要だと思えます。現行では農協職員の人員不足により専門技術職での、人

員配置まで至らないことから各担当事務局にて担当品目の技術を学びスキル向上を目指して行きます。

▽購買事業関係

◆意見①

「マーケットの価格の他店との比較」

◆回答①

競合他社への市場調査は定期的に実施しており、他社の価格差についても認識いたしておりますので仕入れ先との価格交渉、価格戦略に今後とも取り組んでまいります。

▽総務関係

◆意見①

「若手職員が不足していま

す。将来を考えると職員不足が経営圧迫させることも考えられますし、組合員の高齢化と共に生産物の減少も考えられますので現場の体制作りの検討は急ぐ必要があります。」

◆回答①

若手職員の不足やパート・稼働者等の人員確保等については非常に苦慮しているところではありますが、将来への事業継続に向けて、働き方改革への対応も含め、待遇改善等を進めて行きたいと思えます。

◆意見②

「各地区農家戸数減少に伴う農協役職の選出方法の見直し」

◆回答②

農家戸数の減少に伴い、平成28年度総代会にて理事定数の見直し（14名→10名）が承認され、翌年の改選期から適応しており、特別な事情が発生しない限り当面は現行どおり進めて行くこととしております。



農薬の適正使用とドリフト防止

6月になり、畑作物や水稻が本格的に始まりました。

周囲の環境や近隣の圃場への農薬のドリフトに気を付けましょう！

適正使用にはラベルの確認が重要です。安全・安心な農作物生産の維持をしていきましょう。
※農薬のドリフトに係るご相談は営農指導課へ

農と食の
総合雑誌

地上

GOOD EARTH

お申し込みは JA へ

定価（税込み）／普通月号……606 円

付録付号（5・11月号）……668 円

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介し
ます。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧
ください。

JA北海道 中央会



NHK連続テレビ小説「なつ
ぞら」をご覧になっていますで
しょうか？JA北海道中央会
のフェイスブックページでは

4月23日より「なつぞら」に
関する投稿」を不定期ながら発
信しています。

ドラマでは当時の農業や農
村の様子だけではなく、農協（J
A）についても、取り上げられ
ていることから、北海道農業
をサポートするJAグループ
北海道として、ドラマの感想
も含め、関連する北海道農
業・酪農の歴史や魅力、JA
に関する歴史・話題などをお
届けしてゆく予定です。



フェイスブックにて検索頂き
JA北海道中央会のページに
「いいね」「ページをフォロー
する」をタップ頂きますと、記
事が表示されるようになります
ので、ご覧いただけると幸
いです。

フェイスブックページで「J
A北海道中央会」で検索する
か、または、こちらのアドレ
スからご覧ください
[https://www.facebook.co
m/jahokkaido](https://www.facebook.com/jahokkaido)

JA北海道 信連



JAバン
ク北海道で
は、スポーツ
振興や地域
振興の観点から、「日刊スポー
ツ豊平川マラソン」への協賛を
行い、今年で4年目となりま
す。ゼッケンに「JAバンク北
海道」ロゴを掲出し、特設ブ
スには新キャラクター「よりぞ
う」も駆け付け、一緒に写真撮
影をされた方に「よりぞう」
シールをプレゼントしました。



ホクレン



ホクレンは創立100周年
を迎えた4月18日、札幌パー
クホテルにて会員JA・取引
先をはじめとする皆様にご臨
席いただいて記念式典を開催
し、続けて祝賀会も開催しま
した。

祝賀会では1
00周年の節目
にあらためて設
定したホクレン
の経営理念「
わたしたちは
生産者のための協同組合とし
て会員JAと連携した事業を
通じ、共生の大地北海道から
「農」と「食」の未来を担いま
す」が内田会長より発表され
ました。



JA共済連 北海道



JA共済連では、道内の8
校（中・高等学校）にて、スタ
ントマンが危険な自転車走行
に伴う交通事故場面を再現し
生徒が事故の危険性を疑似体
験する（スケアード・ストレイ
ト教育技法）自転車交通安全
教室を開催し
ます。

JA共済連は
本活動を通じ
て交通事故の未
然防止を図り



次世代を担う子供たちの育成
と安全な生活環境づくりに貢
献していきたいと考えており
ます。

JA北海道 厚生連



組合員ならびに地域住民の
皆様の生命と健康を守るため
本会事業の積極的な啓蒙推進
を図ることを目的として、広
報誌「すまいる」を発行して
おります。

年3回発行しており、様々
な医療・健康情報を発信して
おります。

ホームページ
にもバックナン
バーを掲載して
おりますので
是非一読くだ
さい。



理事会のうごき

第33回理事会…令和元年5月27日(月)

- ▶組合員の資金貸付に係る担保評価基準地価格の変更について
- ▶平成31年度組合員信用限度・クミカン供給限度・貸越極度査定書について
- ▶理事との買取販売取引の包括的承認について
- ▶平成30年度決算自己監査回答(案)について
- ▶平成30年度JAバンク基本方針に基づく財務モニタリングの報告について
- ▶行政庁への業務報告書の提出について
- ▶理事の報酬額(案)について
- ▶平成31年度コンプライアンスプログラム実施計画について
- ▶第1・四半期自己監査日程について
- ▶家畜専用車契約金値上げに伴う運賃改定(案)について

各課より

お知らせ

マーケットからのお知らせ

くみあいマーケットでは
ベーカリーコーナーを
新設しました!

大盛況!

店内で作った焼きたて
のパンを**108円**
からご用意しております!



イベント実施中!!

10月までの第3日曜日には伊達野菜の軽トラ市を
9:30から開催!!

毎月第4日曜日には税込
1,000円以上お買い上
げしていただいた方に伊達
野菜をプレゼント!!



マーケットへお越しの際はぜひ、お買い求めください。

未来を変える。 みんなで作る。

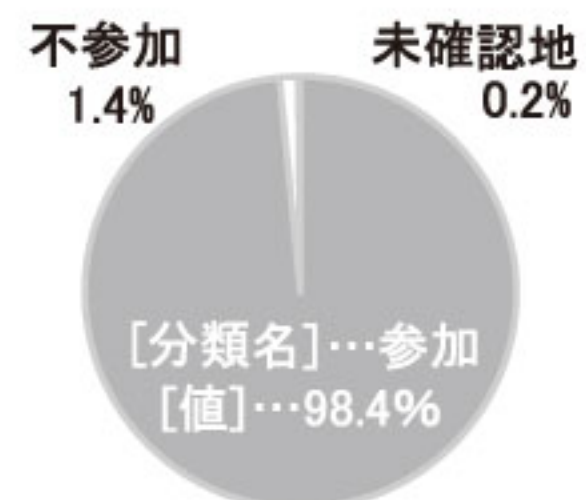
国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.22

意向調査にご協力ください

各農業者や土地所有者の方に事業への参加
意思があるかどうかの戸別訪問(意向調査)を
今年度も行っています。意向調査は平成29年
度から実施しており、昨年度は多くの皆さんか
ら参加表明をいただきました。

～平成30年度 事業参加意向状況 (面積ベース)～

今年度も改めて事業への参加意思を確認さ
せていただくと
もに、併せて事業
を進める上での課
題についてもご相
談させていただきます。



	長和地域	関内地域	合計
・参加	544.5ha	831.2ha	1375.7ha
・不参加	0.0ha	19.7ha	19.7ha
・未確認地	2.0ha	0.3ha	2.3ha
合計	546.5ha	851.2ha	1397.7ha

～課 題～

- ・相続未登記の解消について
 - ・農振農用地の編入について
 - ・農地の売却意向について
 - ・農業委員会を介さない賃貸借(ヤミ耕作)について
 - ・無番地や国公有地の占用について
- 詳細については、該当する方へ個別にご説明いたしますので、ご協力をお願いいたします。

◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内
TEL0142-23-3331 内 538)